

# 加速器研究施設 行動規範 (Code of Conduct)

April 2026

## 序文

KEK の加速器研究施設は、世界最先端の加速器を開発、建設するとともにそれらの運転・維持及びビーム性能の向上を担い、高性能で安定したビームを宇宙・物質・生命の探求を目指す学術研究や産業応用に関わる研究に提供するとともに、将来計画に必要な新たな加速器の開発研究を行うことを目的とする。また、国内外の研究機関と連携しながら先端的加速器に関わる人材育成に取り組む。これらの目的を達成するためには、性別・国籍などにかかわらず多様な人々がお互いを尊重し、率直に意見を出し合える建設的な職場環境を整備する必要がある。また、研究活動で得られた知見を積極的に発信し、基礎科学に対する社会からの幅広い理解と協力を獲得することが重要である。そのために、加速器研究施設の活動に携わる私たちは、関連法令・KEK の行動規範<sup>\*1</sup> に加えて以下に示す規範を尊重して行動する。この「私たち」とは、本研究施設の職員に限らず、共同利用研究者など本研究施設に関わる全ての人々を指す。

なお、この行動規範は、定期的な見直しを行って最新の知見に基づいた内容へと改訂していくべきものである。

## 加速器の安全管理

加速器の運用においては、安全確保を最優先事項とし、関連法令および施設内規程を厳格に遵守する。運転前点検、定期保守、放射線管理区域の適切な設定と立入管理を徹底し、インターロックや遮へい設備の機能確認を確実に行う。異常検知時には速やかに運転を停止し、定められた手順に基づき報告・記録・原因究明を行う。また、全従事者に対して安全教育や訓練を定期的実施し、事故事例及びヒヤリハット事例の共有を通じて安全意識の向上と事故の未然防止に努める。

## 研究開発の促進

加速器科学および関連分野の発展を目指し、研究開発を計画的に推進する。実験計画の立案にあたっては明確な目的を設定し、効率的なビームタイムの活用を図る。学内外の研究者

---

<sup>\*1</sup> <https://www.kek.jp/ja/compliance/misconduct/conductcode-2/>

や産業界との連携を積極的に進め、共同研究や技術移転を通じて成果の社会実装を促進する。また、研究データや知見の適切な共有と公開を行い、オープンサイエンスの推進に貢献するとともに、若手研究者や技術者の育成に継続的に取り組む。

### **環境保護**

研究施設の運用においては、環境負荷の低減を重要な責務と認識し、省エネルギー運転や高効率機器の導入を推進する。放射性廃棄物や化学物質の管理については法令およびガイドラインに基づき適切に処理・保管する。排気・排水の管理を徹底し、周辺環境への影響を最小限に抑える。また、環境監査や改善活動を継続的に実施し、環境保全意識の向上と持続可能な施設運営に貢献する。

### **持続可能な研究環境の構築**

安定的かつ継続的な研究活動を支えるため、設備のライフサイクル管理を行い、計画的な更新・改修を進める。運転効率の向上とコスト最適化を両立させるため、継続的な改善を図る。さらに、研究者・技術者・運転員が安全かつ快適に働ける環境を整備し、ワークライフバランスや多様性への配慮を重視する。災害時や緊急時に備えた事業継続計画の整備・訓練を行い、組織としてのレジリエンスを高めることで、持続可能な研究基盤を確立する。

### **倫理的な研究活動**

すべての研究活動において高い倫理観を持ち、捏造・改ざん・盗用などの不正行為を厳格に排除する。研究データは適切に取得・記録・保存し、第三者による検証が可能な形で管理する。利益相反の有無を適切に開示し、公正性と透明性を確保する。また、安全保障貿易管理やデュアルユースの観点にも留意し、研究成果の社会的影響を十分に考慮する。関係法令や倫理指針を遵守するとともに、説明責任を果たし、社会から信頼される研究活動を実践する。